We are doing “ISO 14001”for the future of the earth.

エコ・ステーション
Eco Station

2006.1
1
NO.57

発行：株式会社シンコー
環境管理部
〒146-0093 東京都大田区矢口1-13-5
TEL:03-5482-2061 FAX:03-5482-2062
URL:http://www.shinkoh.com

ニュース

古着リメークの講座やコンテストをＮＰＯが開催！

札幌市のＮＰＯ団体「ＳＭＮネット」などは、着物や帯、古い洋服といった古着を材料にして新しい服を作る人材を育成しようと、2月から講座や作品のコンテストを開催し、こうした「リメーク」を行う人々のネットワークづくりを広める活動を始める。
団体の狙いとしては、商品開発につなげると同時に、広く社会にリサイクル、古着活用などの意識を根付かせるというもの。
環境省によると、古着から作った服のコンテストやリメーク業者のネットワークづくりは国内でも珍しいという。
講座は、家庭での服作りを対象にした初級と、販売などを目指す上級の2つに分けて2月から開催、作品も募集し3月には優秀作品の展示会を行う予定。
ＳＭＮネットなどは、古着から作った服の販売も1月中旬以降、札幌市内の店頭やネットワークのホームページなどで行っていく。

提供：エコロジーオンライン

2両編成の列車トラックで物流のコスト削減！！

トラック2台を列車のように連結し、1人で運転する輸送システムを富山県の物流関連企業が今春から本格導入する。
これは、原油高に対抗するコスト削減を狙ったものだが、試験運用で燃料費や人件費をそれぞれ30%程度減らすことができたという。
そのため、排ガス削減も期待でき、温暖化防止の点からも関心を集めそうだ。
取り組んでいるのは高岡市にある「ＳＴ物流サービス」など5社。
4トンの中型トラック2台を専用に開発した連結装置でつなぐことで、運転手が後ろのトラックのハンドル操作やブレーキまでコントロールできるという。
前のトラックはけん引車、後ろはトレーラーとして許可を受ける。
連結輸送は、2台が別々の目的地に運ぶ荷物を積んだ場合、中継地でトラックを切り離し、片方を別の運転手が運行。
運転手の負担や配送時間を短縮できる利点がある。また二酸化炭素の排出削減が期待できるとして昨年、国の物流効率化のモデル事業に選ばれ、補助金の交付が決まった。同社は「中型トラックは大型よりも狭い道を走行でき、需要は多いはず」と強調。列車トラック1組の費用は1900万円で、当面、10組で実施する予定だ。

提供：エコロジーオンライン

環境活動

※ 今月の重点管理：廃棄物の分別徹底
※ 次回環境管理委員会は2月15日（水）です。

2006年度新メンバー

・ＥＭＳ管理責任者 ： 1名
・環境管理責任者 ： 9名
・設備管理責任者 ： 1名

今期の月次活動目標

1月：廃棄物の分別徹底
2月：設備点検の実施
3月：交通安全強化月間
4月：環境意識の向上
5月：エネルギーの節約
6月：環境イベント参加
7月：温度調節をまめに
8月：家庭での環境問題を考える月間
9月：防災対策強化月間
10月：環境管理強化月間
11月：火災予防強化月間
12月：目的･目標設定強化月間

私の言い分

最近の私の省エネ体験です。寒い日が続き、また石油の高騰もあって、暖房費が厳しくなっています。何か節減（CO2削減）できないかと考えた末、洋室の部屋を2重窓（障子戸を入れる）にすることにしました。但し、今回は自分の部屋だけ。「昔は窓が大きかったなあ･･･」と感じながらも、早速、ホームセンターに行って材料を買い、一日で仕上げることができました。和風ムードも合いまって暖かくなり、従来と比べて保温効果が大幅に改善されました。

― 電気･機構設計部より ―

編集後記

昨年の更新審査はISO14001：2004版となり、システムの見直しに大変な年でした。お陰様で、「合格」の判定を受けて登録維持され、2006年新たな年を迎えました。今年は戌年、「人も歩けばゴミにあたる」、いつも環境意識をもって行動したいものですね。本年も “エコ･ステーション” をどうぞよろしくお願い申し上げます。